

西別岳のプロフィール

西別岳は摩周湖の東南に位置し、その 799.5 メートルの頂から摩周湖の素晴らしい眺めや、阿寒摩周国立公園のギザギザした火山景観と、オホーツク海に突出した半島にある知床国立公園の一部を見渡せます。6 月から 7 月の間には、鮮やかなピンク色のエゾツツジや、可憐な紫色のチシマフウロなどの素晴らしい高山植物が西別岳の山肌に咲き渡ります。西別岳登山道と摩周岳登山道をつなぐ登山道は摩周岳の頂上へと続いています。

西別岳登山道

西別岳登山道は、経験を積んだハイカーにとっては、比較的簡単なコースですが、所々にある急勾配や狭くなっている道、石がゴロゴロとした道を登るには、高いレベルの体力を必要とするでしょう。西別小屋駐車場から山頂までは約 90 分ほどかかり、摩周第一展望台からは約 3 時間ほどかかります。

西別小屋登山口

西別小屋からのルートは、カラマツと広葉樹の森を抜けて登っていきます。登山口から約 10 分ほどの森の中に、うぐいす谷という休憩地があります。この名前は、この地域に住むウグイスに由来して名付けられています。うぐいす谷はがまん坂と呼ばれる非常に急勾配の登山道の始めの地点でもあります。高度 100 メートルほどのこの急勾配の斜面を登るのには約 20 分かかります。

がまん坂を登り終わると、道はやや平坦になり、その後、600 メートルの曲がりくねった上り道があります。この平坦な区間には、脇にカバノキが生育しています。この 600 メートルの道を登り切った先には、豊かな高山植物が見られる広々とした草原が広がります。

草原は頂上から約 500 メートルほどで終わります。ここから道は狭まり、頂上まで続きます。この最後の区間は非常にゴロゴロしているので注意が必要となり、特に雨の日には足元にお気をつけください。山道はよく整備されており、土嚢で人工的に作られた階段が、登るのをより一層楽にしています。西別岳の頂上から 1 キロメートルほどの地点で、標高 787 メートルのリスケ山に向かって道が分岐しています。